

対談した本多葵美子さん（左）と立花千月香さん（中央）



東西の天下無双の末裔が交流 立花家と本多家が400年の時を超え対談

大河ドラマ招致実現に向けた機運を高めようと2月11日、本多家と立花家の対談が御花で開かれました。豊臣秀吉から「東の本多忠勝、西の立花宗茂」と武勇を称された2人。約400年が経ち、忠勝の末裔にあたる本多葵美子さんと宗茂の末裔で御花の社長を務める立花千月香さんが対談しました。「家柄にしばられるのが嫌だった」と幼少期を振り返った2人。初対面とは思えないほど会話がはずみ、「姫ネットワークで面白いことができれば」と盛り上がっていました。

掘割の水を守るには堀岸の植物が大切と訴える立花会長



水と緑は一对でないと駄目 水の会が3年間の活動を報告

平成3年から活動している「水の会」は2月26日、城内コミュニティ防災センターでお堀談義報告会を開催しました。これは、同会と市が令和2年度から市民協働事業で取り組んでいるもので、昔のようなきれいな掘割を取り戻すため、3年間で「柳川方式」の掘割づくりを研究し、市へ提案したことなどを報告しました。堀岸を木柵や石積みにして微生物や魚介類が生息しやすい環境をつくる提案書の詳細は市公式サイトで確認できます。



公式サイト

技術と身体能力、心を均等に鍛える大切さを訴える周子さん



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎77・8425

プラス思考で何事もうまくいく 内村周子さんが子育て術を伝授

市中央公民館は2月12日、体操五輪金メダリスト内村航平選手の母、周子さんの講演会を市民文化会館で開催しました。講演会では、「子どもの前で他人の悪口を言っては駄目」「困ったときはとにかくプラス思考が大事」など、子育ての心構えを軽快な語り口調で解説。会場を訪れた278人はうなずきながら周子さんの話に聞き入っていました。参加者の1人は「とても聞きやすい話し方だったので、90分があったという間だった」と満足そうでした。

赤くて大きいイチゴに児童はご満悦



甘いイチゴをいただきます 市内小中学校にあまおうを提供

3月2日、JA柳川と市で構成する農業振興活性化協議会は、市内全小中学校に地元産のイチゴ「あまおう」を全児童、生徒に1個ずつ提供しました。これは、児童や生徒たちに地元で生産された農作物のおいしさを知ってもらおうと、毎年行っているもの。垂見小学校では、カレーライスやサラダとあまおうが給食に並びました。児童たちは赤くて大きいイチゴに大喜び。6年生の田中もあさんは「イチゴが大好き。いつもより甘くておいしかった」と笑顔で話してくれました。

やながわの暮らしに会話が弾む参加者



やながわの暮らしを共感 初めての移住者交流会を開催

2月26日、市民文化会館で移住者同士が情報交換するやながわ移住者交流会がありました。この会は、移住後のやながわ暮らしをもっと楽しんでもらうことと、今後の市の移住施策に生かすため、市が初めて企画。11人が参加して「移住して驚いたこと」をテーマに情報交換をしました。「海苔がうまい」「カラスが多い」「あそこの定食はうまい」など、移住者ならではの視点に共感していました。最後に移住を決めたポイントを参加者で出し合い、やながわのよかとこを共有しました。

感謝状を贈呈された久保田さん（右）と藤木さん



命を救うためとっさに行動 人命救助で中学生2人を表彰

市消防本部で2月27日、市内で高齢者を救助した久保田煌叶さん（大和中2年）と藤木悠光さん（筑後中3年）へ感謝状が贈呈されました。昨年12月17日の午後1時15分ごろ、塩塚のクリークに落ちた高齢女性を久保田さんが発見。1人では引き上げられないと判断した久保田さんは、110番通報の後、通りかかった藤木さんと協力し、女性を引き上げました。2人の行動によって一命を取り留めた女性。久保田さんは「命を救えてよかった」と振り返りました。

堀岸の草を刈ったり歩道のごみを拾ったりする参加者



市民1000人が清掃で汗 3年ぶりにクリーンアップ大作戦を決行

市民グループ「道守柳川ネットワーク」は2月19日、水落ち期間中の城堀周辺で、柳川「堀と道」クリーンアップ大作戦を実施しました。コロナの影響で3年ぶりとなった今回は、柳河や城内地区の住民や婦人会、商工団体、柳川高校など約1000人が参加。小雨が降る中、あめんぼセンター周辺を中心に、掘割に入って草を刈ったり、歩道のごみを拾ったりして汗を流しました。約1時間ほどでトラック50台分の雑草やごみなどが集まりました。